

## 愛らしい姿を作り出すのは 500年変わらない手仕事

丸みを帯びた形と艶やかな色。

何より縫い目がなく、滑らかな一枚革に見えるのが印象的です。この、宝石のように端正なコインケースは、イタリアのフィレンツェにあるペロニー社の作品。ビエロ、ロベルトのペロニー兄弟が、下町に小さな工房を興したのは、56年。今はビエロの息子たちも加わり、500年前のルネサンスから続く革工芸技術を守り続けています。

原料の革は、若い雄牛の皮をフィレンツェ郊外のサンタクロッチェでなめした最高級品。一度濡らして乾燥させた後、収納部とフタに裁断し、それぞれ木型に被せて針でとめ、8時間乾燥させます。次に熱テコで曲面を滑らかに整えて、のりで接着。中に金型を入れて、槌で叩いて継ぎ目を消しながら仕上げていきます。染色して丹念に磨き上げたコインケースは、まさ

工房にて、社長のビエロ氏(左)と、「父が簡単そうにしていることも、実はみんな難しい。修行は大変です」という、次男のマウリッチオ氏(右)。



陳列棚には、カラフルなコインケースがずらり。ペンケースや写真立てなど、他にもさまざまな革の小物が並んでいました。

## ずっと前からあるみたいに 手の平にしっとり馴染む

一枚革そのもの。槌の加減で形を決めるため、ひとつひとつの形は微妙に違いますが、フタはきっちり閉まって緩みがありません。「伝統の技術で作られたものは丈夫。よい革と植物染料を使っているのだから、日焼けや傷も使い込めばいい味になります。化学染料だとはこうはいきませんよ」とビエロ氏。

コインケースを使い出すと不思議と身軽になれる！

ルックスはもちろん、使い勝手も上々。フタに中身を広げられるから小銭が使いやすく、ジャラジャラ貯まることもなし。小銭とお札を分けることで太った財布がスリムになったり、お札を持たずに近所へ買い物に行けたりするのは、やってみるとかなり快適です。ペロニーの中でも薄型のこのモデルは、ポケットに入れて美しく、小さなバッグにもすつと収まるのがうれしい。とにかく一緒にいれたいだけ、愛着の増す一品です。



さらにナイフでそいで薄くします。この作業によって、ぴったりと接合できるように。



なめした革をコイン収納部とフタに裁断。重ね合う接合部分を機械でそいで薄くします。



継ぎ目の部分に焼きごてを当ててツヤを出し、さらに全体にブラシをかけたら完成。



木型と熱テコで成形し、収納部とフタを接着。槌で叩いて圧着させたら、色を塗ります。



### PERONI コインケース

種類：①ブラック、②ナチュラル、③ピンク、④ブルー、⑤ブラウン  
「アット」：ペロニーメカ：ペロニー社  
メカ所在国：イタリア 生産国：イタリア  
素材：カーフ 寸法：幅6.3×奥行7.3×高さ2.3cm  
重量：33g 備考：手作りのため、色は多少異なる場合があります  
PL保険 販売会社：ダイヤモンド

08-TC-001

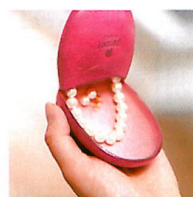


オフィスランチャや、小さな買い物に出かける時は、札入れを持たず、コインケースひとつで身軽に。

ポケットの形がキレイに見えるよう、大きさと丸みが計算されています。手ぶらになれば、フットワークはもっと軽々！



家では大切なネックレスやピアスを入れて。ちょっと上質なアクセサリーケースとしてもお勧めです。



片手で持って手前に傾けるだけで、中のコインを全部フタの上に出すことができるから、数えるのもラク。もう、レジの前であわてることもありません。